

消防協力者表彰式を実施しました

坂戸・鶴ヶ島消防組合

1月19日（金）に発生した東武東上線鶴ヶ島駅構内の救急事案において、迅速かつ適切な救命処置を行い、尊い命を救うことに貢献された引地郁香様、東武鉄道株式会社鶴ヶ島駅様を2月27日（火）「消防協力者」として表彰しました。

看護師の引地さんは、「仕事での訓練を生かし、命を救うことができ看護師として誇りに思います。」と笑顔を見せてくれました。

また、鶴ヶ島駅駅員の佐藤さんは、「実際に行動を起こすことは勇気が必要だったが、引地さんがいてくれたので心強かった。」と、話してくれました。

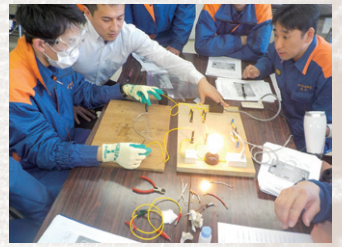


講義&実験により電気火災を体感

松戸市消防局

松戸市消防局は2月19日（月）と20日（火）、消防訓練センターにて電気火災研修を行いました。私たちに便利な生活を提供してくれる電気製品。しかし、これらが毎年、火災の発火源となっているのも事実です。

本研修では、「ジュール熱」「放電スパーク」によってどのように火災が発生するかを軸に、講義において得た知識を、実験により確認し、出火事例と絡めて観察、考察することで電気エネルギーが火災と結びつくメカニズムについて理解を深めることができました。



消防通信 望楼 ぼうろう

「平成29年度自主防災組織地区リーダー養成講習会」を開催

柏原羽曳野藤井寺消防組合

柏羽藤組合消防団協議会主催により「平成29年度自主防災組織地区リーダー養成講習会」を2月18日（日）柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部で開催しました。

当日は、柏原市、羽曳野市及び藤井寺市の自主防災組織の市民81名が受講し、煙霧体験、初期消火、AED取扱い、応急手当、応急担架作成及び負傷者搬送訓練を実施しました。地区リーダーとしての意識向上及び技術習得のため熱心に取り組まれ、講習終了後、受講された地区リーダーには修了証が交付されました。



合同ヘリテレ訓練を実施

松山市消防局

松山市消防局では、2月27日（火）、愛媛県消防学校大規模訓練場で愛媛県消防防災航空隊、高知市消防局との合同ヘリテレ運用訓練を実施しました。今回使用したヘリテレ受信装置は、昨年12月に消防庁から松山市及び高知市に無償貸与され、四国の消防本部に初めて配備されたものです。

また、訓練では広報通信車の操作確認を行うとともに、愛媛県防災ヘリコプターが上空で撮影した映像の鮮明さや、受信できる距離などを確認しました。

近年の大規模・広域化する災害や発生が危惧されている南海トラフ巨大地震には、県・市・消防本部などの垣根を越えた連携協力体制の強化が必要であることから、このような訓練を通して絆を深めることで、実効性の高い連携体制を築きたいと考えています。

